総務常任委員会

幸手市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例（議案第34号）

問 参与、副参与を設けることで、上司にあたる課長や主席主幹等が、業務を頼みづらくなったり、遠慮してしまうのではないかと、また、限られた職員数で職務を行わなければならない場合に、新たな役職を設けることで他の職員への業務負担が増えてしまうという懸念はないか。

答 役職定年制が導入され、役職定年となった管理監督職は、3級の主査級となるが、管理職を経験した職員については、これまで培ってきた幅広い知識と経験が若手職員へと引き継がれることを期待することから役職名をあえて区別することが、主査と同等の職務を行うことになるので、業務の頼みづらさなどの支障をきたすことは無いものと考えている。

問 市民目線で考えると、特別

な役職をつくるわけであるが、管理職だった多彩な経験を生かして、窓口業務を積極的に元部課長クラスがやることによつて、市民サービスに貢献し、他の職員の模範となるような業務をするほうが、市民に対して印象がいいように感じますが、その辺りはいかがか。

答 主査という立場、参与、副参与という立場は同じなので、窓口で必要であれば出て、他の職員の見本となるような対応とすることができるのがよろしいと思う。

問 令和4年12月議会で必要な改正が行われたときに、全ての検討が済んでいるという認識でいたが、今回改めて条例が出されたのは、何か特段の事由が生じたという考え方でよいのか。

答 令和4年度の改正については、制度が国として法律ができるので、それをできるように整えるための条例改正をしたとい

うことで、その後、実際の運用が始まるので、その際に今度は幸手市としてこの制度についてどうやって対応、運用していくかということも、二段階で事務を進めた。最初のほうは法律がそういう法律なので、それに見合うように市の条例を改正する事務を進めたということである。今回は、実際に始まるので、それをどう運用するかということとで再検討、新たな検討を進めて、こういう役職をつけて、少し経験を生かして、さらに頑張ってもらいたいという思いがある。

幸手市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例（議案第40号）

問 条例の改正によって、マイナンバーカードの利用に際して影響は生じるのか。

答 今回の条例改正は、番号利用法の改正に基づくものであつて、マイナンバーカードの利用

に関して、影響はない。
問 マイナンバーカードの普及率というのは何%ぐらいになるのか。

答 令和6年4月30日時点の申請件数になるが、幸手市においては3万9027件、人口に対する申請件数の割合になると79%ということになる。

幸手市税条例の一部を改正する条例（議案第41号）

問 個人住民税の寄附金税額控除に関する規定の整備とは、具体的にどのようなものか。

答 これまでは、認定特定公益信託として、個人の方が信託財産とするために支出した金銭は、税制上の優遇措置により特例で寄附金控除の適用を受けることができたが、公益信託制度の改正によって、独立行政法人などの特定公益増進法人に対する寄附金と同様に、寄附金控除の対象となることで、より活用しやすいものとなる。

文教厚生常任委員会

幸手市放課後児童クラブ設置条例の一部を改正する条例
(議案第42号)

問 指定管理者制度に移行するという考えだが、保護者会や現場職員の意見は伺っているか。

答 保護者会にはアンケート調査を通じて、次の意見を伺っている。

保護者会の負担が大きいと感
じているか、に対して「はい」
が44%、「いいえ」が17%、「わ
からない」が37%であり、そ
他、保護者会による運営を継続
すべきか、に対しては「継続す
べき」が16%、「継続すべきで
ない」は32%。

また現場の職員に対しても2
回程度意見を聴き取りしている。

令和6年度幸手市一般会計補正予算(第2号)
(議案第45号)

問 埼玉県障害者生活支援セン
ター等補助金の内容と消費税の
関係について。

答 市町村が行っている障害者
相談支援事業は、障害者総合支
援法第77条に基づいて行っている
事業で、社会福祉法上の事業に
は該当せず、課税扱いとなる。

しかしこれまで全国的に非課
税と誤認して取り扱っている市町
村があることから、消費税額を
委託料に含めて受託者に支払う
必要があると、こども家庭庁お
よび厚生労働省から通知された。

**幸手市立武道館の
エアコン設置に関する件**
(請願第1号)

問 武道館のエアコン設置につ
いて、ガスヒートポンプ方式エ
アコンでの年間ランニングコス
トが203万3236円と試算
しているが、リース契約となれ
ば初期費用はかからないのか。

答 エアコン導入の初期費用ま
では算出していないが、現状の
電気とガスを比較した場合、電
気よりもガスのランニングコス
トの方が安いという試算は出
ている。

建設経済常任委員会

市道路線の認定について
(議案第43号)

問 1-29号線は現在、県道で
ある道路を市道に認定し、1
-30号線は新たに整備するの
か。

答 1-29号線についてはその
とおりである。1-30号線につ
いては、県道惣新田・幸手線バ
イパスであり、県道または国道
を結ばないと県道として認定が
できないので、県道惣新田・幸
手線バイパスが国道4号バイパ
スマでつながるまでの間、この
区間は県道と市道の広域農道を
結んでいるので、それまでの
間、市道として認定をするもの
である。

問 県道惣新田・幸手線バイパ
ス工事予定は決まっているの
か。

答 埼玉県の事業スケジュール
については公表されていないの
で、詳細についてはまだ分から

ない。進捗状況は、現地におい
て詳細設計を行っている。

問 県道として出来上がるまで
の間の管理は市になるのかにつ
いて。

答 幸手市道として認定するの
で、幸手市で管理することにな
る。

**「倉松川改修事業に伴う
橋梁廃止の見直しを求め
る意見書」を埼玉県に提
出することを求める件**
(請願第2号)

問 廃止となると生活に影響が
あると認識しているか。

答 近隣に幼稚園もあり、送り
迎え等に使用され日々の生活に
使っている道路と認識し、請願
に至った。